

中小企業家しんぶん

北海道版
第387号

一般社団法人
北海道中小企業家同友会
〒060-0906 札幌市中央区北5条4-1-7
テラスウエストビル13階
電話(011)702-3411(代)

(毎月15日発行)
昭和54年1月20日 第3種郵便物認可

主な記事

- 賢展美業・樋田恵一氏講演 (2面)
- 賃上げ・初任給調査結果 (3面)
- 1世紀企業@近藤商会 (4面)

24年度合同入社式

豊かな人生への挑戦を

若者の新たな旅立ちにエール



45社89名が参加した合同入社式(札幌)

雪解けが一気に進んだ道内各地で、2024年度合同入社式が開催されました。全道で105社210名が社会人としての第一歩を踏み出しました。

札幌では、45社89名の新入社員が参加し、藤井幸一代表理事は「人生を豊かにするために何事にも挑戦し新しい自分を発見してください」と激励とお祝いの言葉を述べました。新入社員の紹介は会社ごとにステージ上で名前を読み上げ、緊張した中にも新入社員達の「よろしくお願ひします!」と元気の挨拶が響き、会場からは温かい拍手が送られました。

新入社員代表の決意表明は、プリプレス・センターに今年入社した4名が行いました。久保春香さんは「コロナ禍で急激に変化する社会に衝撃を受け、時代の変化に負けない形の残る仕事をしたい」と述べ、「多岐に活躍できる人材になりたい(加園愛音さん)」「新しい課題にチャレンジしたい(瀧川愛斗さん)」「時代の変化に合わせて成長したい(尾愛斗さん)」がそれぞれ力強く決意を述べました。第2部は新入社員相互の交流です。北海道四季経営の小



新入社員を代表して4名が決意表明

室陽介社長進行のもと、人間関係の第一歩、挨拶、を様々な角度から実践しました。まずは隣の人と、次に握手や名前を呼ぶ要素を加えて周りの人と、仲間とどんどん広がり会場全体が明るい笑顔に包まれました。小室氏は「一人ひとりの出会いを大切に素敵な社会人になってください」とエールを送りました。合同入社式は各支部でも開

かれ、とから(3月29日)24社68名、帯広では新入社員代表の決意表明に続き、「声で伝える!一歩踏み出す勇氣」をテーマに記念講演を行い、引き続きビジネスマナーを学ぶ研修会が開かれました。道北あさひかわ(同26日)12社19名、旭川の入社式では、先輩社員からの歓迎メッセージと新入社員の決意表明を受け、マナー研修を行いました。函館(同28日)9社14名、函館、オホーツク(同28日)5社7名、北見も入社式と新入社員研修会を開催。社会人としての基本的マナーや心構え、名刺交換や電話応対、言葉遣いなどを実践的に学びました。くしろ(4月2日)10社15名、釧路の入社式では各社からの励ましの言葉に続いて入社辞令交付式を行い、参加者が温かい拍手で新入社員を激励しました。

道北あさひかわ支部旭川西地区会 近藤染工場を見学 伝統産業への理解深める

【旭川】道北あさひかわ支部旭川西地区会は2月22日、2月オープン例会「近藤染工場に見学&染め体験」を開催しました。近藤氏は、全国で数少ない本染め専門工場として、代々受け継がれた刷毛引き本染めを貴き、本物志向のものづくりを大切にしていることを語りました。続いて、1×1・5サイズの「同友会オリジナル大漁旗」を参加者全員で染色しました。染めない部分に染料を置き、その周りを染め色ごとに交代しながら刷毛で染め上げました。完成した大漁旗は、同社のご厚意で支部に寄贈されました。企業訪問や染め体験を通して、地域に根差した伝統産業への理解を深めることができ、楽しい企画となりました。



同友会オリジナル大漁旗と集合写真

- ### 24年度各支部・全道総会日程
- 2024年度各支部総会および全道総会の日程をお知らせします。
- ▼函館 4月18日(木) 17時、ホテルサンプラザ
 - ▼帯広 4月22日(月) 16時30分、ホテル日航イスタンブール
 - ▼道北あさひかわ 4月24日(水) 18時、アートホテル旭川
 - ▼苫小牧 4月24日(水) 18時、新苫小牧プリンスホテル「和〜なごみ〜」
 - ▼札幌 4月25日(木) 16時、グランドメルキュール札幌大通公園
 - ▼くしろ 4月25日(木) 18時、釧路センターユキヤッセルホテル
 - ▼西尾 4月26日(金) 17時、室蘭プリンスホテル
 - ▼全道総会 6月4日(火) 14時、京王プラザホテル札幌およびオンライン

気流

2024のJリーグが2月28日に開幕し、各地で熱戦が繰り広げられています。北海道コンサドーレ札幌はシーズン開幕前に攻守の主力選手が移籍し、その影響もあり苦戦しています。プロスポーツにおけるチーム編成の難しさが象徴されています。近年、大企業を中心に人材確保のために高待遇を打ち出した採用活動が活発です。今年の春闘では、大企業の多くが軒並みベースアップを実施し、人材獲得競争はさらに加速しそうです。中小企業も対応するべく、賃上げや働く環境整備を進めながら、「中小企業だからその動きが早い」を追求することで、優秀な人材を引き留める努力をしています。

人は何のために働くのでしょうか? すべての人が資金や待遇だけを求めて働くわけはありません。企業理念やビジョンに共感し、自分の能力を活かして社会貢献したいという方々も沢山います。中小企業は、労使見解に基づき、経営指針を作成し、働き方改革などを通じて、魅力的な職場環境を労使が共に整備することで、選ばれた企業になることが求められています。北海道コンサドーレ札幌の運営会社の株式会社コンサドーレは「北海道、札幌市、そこに住む人々を豊かに元気にすること」を事業目的に掲げています。プロスポーツの世界では勝敗も大事ですが、事業目的に勝感するサポーターが温かくチームの行く末を見守っています。中小企業経営にも通じると思います。